

湿疹の症状

湿疹は以下の3徴候を示します。

- ① 点状状態：小水疱・丘疹・漿液性丘疹・膿疱・鱗屑などの点状要素から成ります。
- ② 多様性：丘疹・小水疱・膿疱・結痂・落屑などの種々の発疹が同時に、あるいは、時期を変えて存在します。
- ③ 痒痒：程度の差はありますが、かゆみがあります。

湿疹三角と呼ばれる(図1)臨床経過を生じます。急性期・亜急性期・慢性期の各相があります。

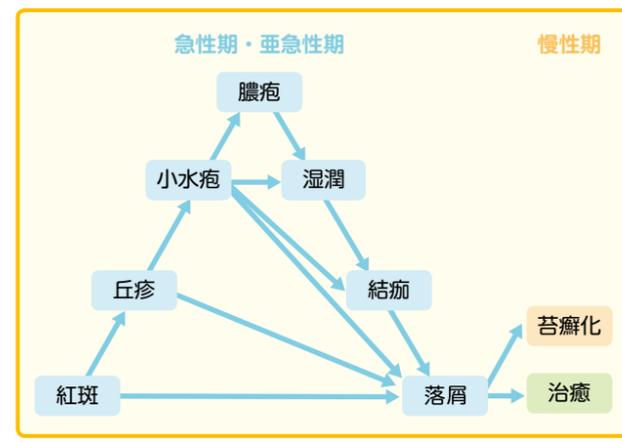


図1 湿疹三角

湿疹でみられる発疹の性状 (図2～図10)

紅斑 (図2～図9)

皮膚の限局した色調の変化で、原則として、隆起や陥凹はしていないものです。色が赤い紅斑は、真皮上層の血管拡張・充血で、硝子圧により退色

します。湿疹の急性期は浮腫性の紅斑から始まります。

丘疹・漿液性丘疹 (図3・図7・図8)

限局性の皮膚表面の直径5 mm以下の隆起性変



図2 紅斑



図3 紅斑・丘疹



図4 紅斑 (アレルギー性接触皮膚炎)



図5 紅斑 水疱形成後のびらん



図6 紅斑・小水疱・落屑



図7 紅斑・丘疹

化です。湿疹では、表皮真皮性丘疹や小水疱を有する漿液性丘疹、中央が壊死している壊死性丘疹などがみられます。

小水疱 (図6)

小水疱は直径5 mm以上の限局した皮膚の隆起中に漿液が存在するものです。水疱は5 mm以上

です。液体の貯留深度により、真皮性水疱、表皮性水疱、表皮の海綿状態による水疱、角層下水疱、表皮下水疱に分かれます。

膿疱

水疱・小水疱の漿液内に白血球が混じったものです。白血球の遊走による無菌性の場合と、細菌